

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成 30 年度第 3 回情報セキュリティ研究講習会運営委員会議事記録

- I. 日 時：平成 30 年 6 月 12 日（火） 13：00 ～ 15：00
II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局会議室
III. 参加者：浜委員長、根本委員、中田委員、服部委員、峰内委員、高橋委員、沼委員、
市川アドバイザー
（事務局）井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

1. 大学情報セキュリティ研究講習会開催要項について

今年度の研究講習会実施に向けて、開催要項の検討を行った。

(1) 全体会について

- ・ 全体会は、サイバー攻撃の最新動向、ベンチマークリスト結果、事例紹介の 3 本とし、講演者の調整をすることにした。予定にした事例は、不正アクセスと対策の紹介に変更した。
- ・ 全体会の内容を振り返る時間を設けてはどうかの意見があった。午後は全体での事例演習部分で、先に予定したメール訓練事例を移動してグループワークでの計画作成などで行うことを検討することにした。
- ・ 情報流出は防げないことから、配慮すべき個人情報とは何か、データ保存、暗号化、紛失しても個人とつながらないようにする対策などデータの関連性のつながりで勝ちを持つことから、分散して持たせる方法も考えられる。
- ・ 演習は、区切って 15 分程度の時間で回すことが効果的であるとの意見があった。参加者の感想で忙しかったとの声もあり、事例・演習の組み立て方・構成は考える必要がある。
- ・ 演習環境では、メール訓練の体験方法は実施の可能性を含め検討することにし、グループで討議できる教室レイアウトでの行うことにした。
- ・ 事例演習は、大学での情報窃取被害と対応事例として、対応手順を紹介し、事前事後の対応手順の確認、攻撃メール訓練を通じて啓発・研修・訓練計画を考える。
- ・ 改正個人情報保護法、不正アクセス禁止法、著作権保護法、GDPR などに関する情報提供を情報管理者に求められる法的知識とその対応として全体会に組み込んでどうか。

(2) コースについて

- ・ テクニカル部分では、サイバー攻撃の基本的知識と最新動向の理解とサイバー攻撃によるインシデントへの対応演習と対策の演習を通じて、技術的な対策を紹介することにした。
- ・ 個人レベルでの対策の一つとして暗号化が考えられるか検討すべき視点を小委員会委員などに別途確認することにした。
- ・ マネジメント部分では、先進的取組事例からセキュリティ対策の振り返り、CISO 設置・強化の対策を通じて、情報セキュリティ対策の整備計画を考えることにした。ベンチマークで情報セキュリティポリシー、ルールの周知徹底、情報資産把握の先進的取組を通じて課題の解決策を考えたい。
- ・ 全体演習部分では、最終 16 時 30 分の閉会時間を設定し、時間計算をした結果、経営陣に向けた提言、自大学のセキュリティ課題の解決計画を考えるの 2 項目で進めることにした。

V. 次回のスケジュール

メールで開催要項の詳細を確認し、完成させることにした。大学情報セキュリティ研究講習会は、8 月 23・24 日に学習院大学で開催することになっている。